

V.1. 教員の教育研究・社会貢献活動

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(3) 日本語・日本文化専攻

[日本語学・言語学]

堀川 智也 (HORIKAWA Tomoya) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究

〈共通教育担当科目〉基礎教養科目

〈学部教育担当科目〉日本語学講義、日本語学演習、言語学概論、日本語

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の意味と文法

〈所属学会〉日本言語学会、日本語文法学会、日本語教育学会、日本語学会、日本認知言語学会

[その他の活動]

〈学会活動〉日本語文法学会大会副委員長、日本認知言語学会理事

岩井 康雄 (IWAI Yasuo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語・日本文化特別研究A/B、日本語学特別研究A/B、日本語学研究VA、日本語研究指導A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉①語彙カテゴリーと音韻 ②破裂音の有声性

岸田 泰浩 (KISHIDA Yasuhiro) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉対照言語学研究IIA、日本語研究指導A/B、対照言語学特別研究A/B

[研究活動]

〈研究テーマ〉類型論(格、明証性)、コーカサスの言語(アルメニア語、グルジア語)

〈所属学会〉日本言語学会、日本語日本文化教育研究会、ユーラシア言語研究コンソーシアム

[その他の活動]

〈管理運営〉大阪大学日本語・日本文化国際フォーラム実行委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校日本語教師育成講座講師

中田 一志 (NAKATA Hitoshi) 教授

http://c.jlc.osaka-u.ac.jp/~hitoshi_nakata/

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究、日本語学特別研究、日本語研究指導 〈日本語日本文化教育センター担当科目〉日本語学研究基礎、日本語学研究、日本語上級文法・語彙、日本語・日本文化研究指導

[研究活動]

〈研究テーマ〉現代日本語文法と日本語文法教育

〈所属学会〉日本語日本文化教育研究会、日本言語学会、日本語学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

- ・ 編集『複数の体系から見た日本語研究ワークショップ報告論集』第3号(2019年3月) 〈論文〉
- ・ 単著「「のだ」文の類型：意味関係と統語的環境から」『日本語・日本文化』47、pp. 1-26 (2020年3月)
- ・ 単著「複合接続助詞「のだから」と集合解釈」『日本語・日本文化研究』29、pp. 1-16 (2019年12月)

[その他の活動]

〈研究助成〉

・ 基盤B「推論過程の言語化における地域語のダイナミクスに関する研究：九州方言を中心に」の研究分担者

〈調査活動〉

- ・ 方言調査（長崎，佐世保，藪路木島）
- ・ 方言調査（天草市牛深，南島原市口之津）
- ・ 方言調査（宇部）

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会代表

今井 忍 (IMAI Shinobu) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究IVA、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学特別研究 A、日本語学特別研究 B

〈共通教育担当科目〉

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の形態法に関する認知言語学的研究

〈所属学会〉日本言語学会、日本認知言語学会、国際認知言語学会、関西言語学会、言語処理学会、日本語文法学会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ On the “Extended” Morphosyntactic and Semantic Features of Sino-Japanese Verbs and Native Japanese Compound Verbs. 19th International Morphology Meeting (ウィーン経済大学、2020年2月7日)

〈研究助成〉

- ・ 科研費（基盤研究 (c)）「日本語と英語における語種と複合語の関係から見た借用の一般理論」（課

題番号 18K00575)

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員会委員、全学情報化推進会議委員、ODINS 運営部
会委員（部局ネットワーク担当者）、全学情報セキュリティ対策室員、部局 CSIRT、部局情報セキ
ュリティ委員、部局情報システムセキュリティー責任者、部局人権問題委員会委員
〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 専門学校日本語教師養成講座講師

三原 育子 (MIHARA Ikuko) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究 I A、日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学特別研究 A、
日本語学特別研究 B

〈学部教育担当科目〉日本語学研究（春夏）、日本語学研究基礎（秋冬）、学部留学生日本語、日本語・
日本文化研究指導（春夏）、日本語・日本文化研究指導（秋冬）（以上、於 CJLC）

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の機能語に関する諸現象について

〈所属学会〉日本語学会、日本語文法学会、日本語学会、関西言語学会、日本語教育学会

[その他の活動]

〈管理運営〉学生交流プログラム検討 WG、Maple 運営 Sub-WG、学生交流推進 WG、CJLC 学務委員
会委員長、CJLC 教育関係共同利用拠点運営委員、CJLC 教育関係共同利用拠点日本語連携教育部
門長、CJLC 国際フォーラム実行委員、その他 CJLC における各種コーディネーター、事業担当
等.

〈社会貢献活動〉大阪 YWCA 「日本語教師養成講座」講師

薦 清行 (TSUTA Kiyoyuki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究 V B、日本語学特別研究 A B、日本語研究指導 A B

〈共通教育担当科目〉日本語学研究基礎、日本語上級読解、日本語・日本文化研究指導、自主研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本文学・古代中世日本の言語と文化

〈所属学会〉訓点語学会・日本語学会・東方学会・萬葉学会・日本語日本文化教育研究会・和漢比較
文学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・「五山禅僧と医界：黄山谷の詩の抄物から」『日本語・日本文化研究』29（2019年12月）
- ・「ゾンゾ攷：文献学的抄物読解」『間谷論集』14（2020年3月）

〈研究助成〉

- ・ 2019 年度科学研究費補助金基盤研究 B「抄物の文献学的研究」(研究分担者)
- ・ 2019 年度科学研究費補助金基盤研究 C「古代・中世の《翻訳》意識—訓読と翻案のあいだを探る—」(研究分担者)

[その他の活動]

〈学会活動〉

- ・ 日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉

- ・ 大阪 YWCA 専門学校講師
- ・ 第 32 回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会審査員

儀利古 幹雄 (GIRIKO Mikio) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語研究指導、日本語学研究

〈共通教育担当科目〉 教養としての日本語

〈学部教育担当科目〉 日本語、日本語学講義、日本語学概論、日本語学演習

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本語のアクセント、日本語諸方言における音声的变化

〈所属学会〉 日本言語学会、日本音声学会、日本音韻論学会

山泉 実 (YAMAIZUMI Minoru) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 対照言語学研究 IA・B

〈共通教育担当科目〉 日本語・日本文化を考える A

〈学部教育担当科目〉 日本語 5、日本語 15、日本語 IIa・b、対照言語学概論、言語学講義 a・b、言語学演習(A)(B)、国語科教育法 VI

[研究活動]

〈研究テーマ〉 指示参照ファイル理論・認知形而上学・認知意味論・認知語用論

〈所属学会〉 日本科学哲学会、日本語用論学会、日本語文法学会、日本認知言語学会、日本言語学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・ 「言語学の理論的研究を阻害する諸バイアス」『日本語・日本文化研究』29: 44–72.大阪大学言語文化研究科日本語・日本文化専攻.

〈翻訳・翻訳書〉

- ・ (共訳) レイ・ジャッケンドフ著『思考と意味の取扱いガイド』岩波書店

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 「極性疑問が潜伏している名詞」日本言語学会第 158 回大会 (予稿集 pp. 302–308)

- ・ “A cognitive-pragmatic account of specificational sentences,” International Cognitive Linguistics Conference 15
- ・ (ワークショップ、コメンテーター) 「シネクドキの世界：カテゴリー化の言語学」第159回日本語学会
- ・ 「名詞句の“自由拡充”が抱える問題とその根源」日本科学哲学会第52回大会
〈研究助成〉
- ・ 「コンピュータ文名詞句の解釈多様性を扱える認知語用論の構築」(科研費17K17842、若手研究(B)・研究代表者。2017年4月~継続中)
- [その他の活動]
- 〈管理運営〉 日専攻総務委員、合同専攻教務委員、合同専攻コンテンツ管理委員、合同専攻ネットワーク管理委員

村田 真実 (MURATA Mami) 講師

[教育活動]

- 〈研究科担当科目〉 日本語研究指導 A、日本語研究指導 B、日本語学研究VIB
- 〈その他担当科目〉 日本語中上級聴解(春夏)、日本語中上級聴解(秋冬)、日本語学研究基礎(春夏) 3、日本語学研究基礎(秋冬) 4、日本語・日本文化研究指導(春夏)、日本語・日本文化研究指導(秋冬)、総合日本語 9B：聴解

[研究活動]

- 〈研究テーマ〉 日本語学関連：方言学、社会言語学、音声学、音韻論
- 〈所属学会〉 日本方言研究会、日本音声学会、日本語学会、日本音韻論学会、日本言語学会、日本行動計量学会、訓点語学会、早稲田日本語学会、文理シナジー学会、近畿音声言語研究会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

- 〈口頭発表・講演・学会報告〉
- ・ 村田真実 (2019) 「上下親疎好悪関係から理解する日本語のスピーチスタイル ―生教材を活用した聴解教育の実践―」 Japon Dili ve Eđitimi Uluslararası Sempozyumu (JADEUS 2019) (於トルコ共和国アンカラ大学ディディムサテライトキャンパス)
- 〈研究助成〉
- ・ 「日本語学習者に対する方言聴解力向上のための教材開発―近畿共通語を中心に―」 日本学術振興会 科学研究費 挑戦的研究(萌芽) 研究代表者(2019-2022)

[その他の活動]

- 〈管理運営〉 箕面地区事業場安全衛生委員、部局内安全衛生委員、日本語日本文化教育センター 学務委員
- 〈学会活動〉 トルコ日本基金 日本語・日本文化研究応用教育センター 学術委員 (Bilim Kurulu, JAPON DİLİ VE KÜLTÜRÜNÜ ARAŞTIRMA- UYGULAMA- EĐİTİM MERKEZİ)、日本語日本文化

教育研究会 事務局

小池 康 (KOIKE Yasushi) 助教

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語学研究ⅡA B

〈共通教育担当科目〉日本語・日本文化を考える

〈学部教育担当科目〉日本語学演習Ⅰa b、日本語学概論、日本語学講義Ⅰa b、日本語3、日本語12

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語文法、日本語史

〈所属学会〉日本語学会、計量国語学会、日本語教育学会、日本語方法論研究会

[研究業績]

〈論文〉

・「類型性から見た有対自他動詞の研究—終止形活用語尾 [-aru] 自動詞と [-eru] 他動詞を中心に—」

『日本語・日本文化研究』29、大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻、pp.104-123、2019年12月1日

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「中上級日本語学習者のための作文ガイドブックの開発と授業での使用—作文に頻出する学習者の誤用を踏まえて—」、木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形（高橋）裕紀子・石川早苗・君村千尋、『日本語教育方法研究会誌』26-2、pp.142-143、2020年3月14日

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉出張講義（兵庫県立小野高等学校）

[日本語教育学]

真嶋 潤子 (MAJIMA Junko) 教授

<http://majimajunko.sakura.ne.jp/bukosite/home.html>

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学実践論ⅠAB、日本語・日本文化特別研究 AB、日本語教育学研究指導

〈共通教育担当科目〉日本語・日本文化を考える D

〈学部教育担当科目〉日本語教育学講義ⅢIab、日本語教育学特別演習ⅡIab、日本語実習13（秋冬学期）、日本語教育学演習a（春夏学期）

[研究活動]

〈研究テーマ〉第二言語習得論、CEFR とその応用、外国にルーツのある児童生徒への言語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会（理事）、日本言語政策学会、ヨーロッパ日本語教師会（AJE）、カナダ日本語教育振興会（CAJLE）、日本語日本文化教

育研究会、大阪大学言語社会学会、コンピュータ利用教育学会（CIEC）、国立大学日本語教育研究協議会

[研究業績]

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ 第34回近畿弁護士会連合会大会シンポジウム，パネルディスカッション「外国につながる子どもの夢の扉を開こう！～自己実現を可能とする教育環境の整備に向けて～」宮島喬，オチャンテ・村井・ロサ・メルセデス，金光敏，真嶋潤子，向畦地昭雄，岩本典子（2019年11月，於：なら100年会館ホール）
- ・ 講師 真嶋潤子「外国につながる児童生徒の心の安定と教育」大阪府教育庁教育振興室令和元年度教育サポーター育成研修（2019年11月，於：大阪府教育センター）
- ・ 講演 真嶋潤子「外国語として学ぶ日本語の面白さと難しさ-日本語教育の現場から-」Handai-Asahi 中之島塾（2019年9月，於：阪大中之島センター）
- ・ 講演 真嶋潤子「母語をなくさない日本語教育は可能か-定住二世児の二言語能力-」大阪YWCA 日本語教師養成講座開設50周年・日本語教師会開設30周年・中国帰国者支援事業開始40周年記念事業（2019年9月，於：大阪YWCA）
- ・ 講演 真嶋潤子「継承語教育とアイデンティティ」第56回在日韓国人教育研究大会 ハングル学校研究会（2019年8月，於：大阪KKRホテル）
- ・ 「中国語と日本語の二言語能力 -横断と縦断調査の結果から」「パネルディスカッション：大阪発『母語をなくさない日本語教育』 -日本で可能か」真嶋潤子，于涛，櫻井千穂（司会：中島和子），BMCN (Bilingual Multilingual Children's Network) 研究大会，（2019年08月，於：ICU）
- ・ ワークショップ 櫻井千穂，真嶋潤子「文化言語の多様な子どもの日本語能力評価 -DLAのJSL評価参照枠を通して」MHB学会，（2019年08月，於：立命館大学）
- ・ 基調講演 真嶋潤子「グローバル化がローカルな日本語教育に与える影響について」ヨーロッパ日本語教師会AJE，第23回AJE国際シンポジウム，（2019年08月，於：ベオグラード大学（セルビア））
- ・ 口頭発表 櫻井千穂，真嶋潤子「文化言語の多様な子どもの言語能力の測定-対話型アセスメントDLA<読む>の開発と妥当性検証プロセス」日本テスト学会 第17回大会 大会実行委員会企画セッション2「言語能力測定」（2019年8月，於：名古屋大学）
- ・ 講師 真嶋潤子「日本語を母語としない児童生徒への言語教育」大阪弁護士会（2019年6月，於：大阪弁護士会館）

〈研究助成〉

- ・ 平成28-平成32年度科学研究費補助金基盤研究(B) 代表：伊東祐郎 課題番号：16H03433 「JSL対話型アセスメント DLA の精緻化と外国人児童生徒のための教育的枠組みの構築」 分担研究者
- ・ 平成29-31年度科学研究費補助金基盤研究(C) 代表：櫻井千穂 課題番号：17K0287 「文化言語の多様な子どものための対話型アセスメントの教育的効果に関する実証研究」 分担研究者

- ・ 2019年度-2021年度科研費基盤研究(C)代表:真嶋潤子 課題番号:19K00736 「「移動の世紀」の言語教育を考えるー移民統合とCEFR-CVの基礎研究ー」
- ・ 2019年度研究成果の国際的発信支援プログラム「人文・社会科学系研究成果の国際的発信支援事業」採択

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化専攻長、講座代表者会議、研究企画推進委員会、計画・評価委員会、大学院入試委員会、キャンパスハラスメントに関する相談員、ASEAN キャンパス WG、協定校コンタクトパーソン(ジョージア大学、ボーフム大学、トロント大学、キエフ国立大学)、CJLC 拠点運営委員会、科研費相談員

〈学会活動〉母語・継承語・バイリンガル教育(MHB)学会(理事・事務局長、査読協力者)、国立大学日本語教育研究協議会(理事)、日本語教育学会(査読協力者)、ヨーロッパ日本語教師会(AJE)(査読協力者)

〈社会貢献活動〉箕面市国際交流協会理事

筒井 佐代 (TSUTSUI Sayo) 教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学基礎論ⅡAB、日本語教育学特別研究 AB、日本語研究指導 AB

〈共通教育担当科目〉学問への扉

〈学部教育担当科目〉日本語実習1(春夏学期)、日本語実習13(春夏学期)、日本語教育学概論、日本語教育学講義Ⅰab、日本語教育学講義Ⅱb、日本語教育学特別演習Ⅰab、日本語教育実習

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の話しことばの研究およびその日本語教育への応用

〈所属学会〉日本語教育学会、社会言語科学会、日本言語学会、国際語用論学会、日本語日本文化教育研究会、社会芸術学会

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語・日本文化講座代表、日本語部会主任、大学院入試委員会委員、総務委員会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員、大学院文学研究科・大学院言語文化研究科統合協議会委員、大学院文学研究科・大学院言語文化研究科統合協議会第三部会委員、人文社会科学系卓越大学院プログラム検討WG委員、協定校コンタクトパーソン(ソフィア大学、トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学、ルーヴェン・カトリック大学、ブカレスト大学、ランシット大学)

〈学会活動〉言語社会科学会編集委員、日本語教育学会審査・運営協力員、日本語日本文化教育研究会運営委員

小森 万里 (KOMORI Mari) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学研究総論、日本語教育学方法論ⅡA、日本語教育学方法論ⅡB、日本

語研究指導 A、日本語研究指導 B

[研究活動]

〈研究テーマ〉 アカデミック・ライティング教育、日本語教育のための文法・談話研究

〈所属学会〉 日本語教育学会、専門日本語教育学会、日本文法学会、日本語日本文化教育研究会、日本語教育方法研究会、アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会、日本語／日本語教育研究会、中国語母語話者のための日本語教育研究会、ヨーロッパ日本語教師会、カナダ日本語教育振興会

[研究業績]

〈論文〉

- ・単著「人文科学系学術論文の冒頭章におけるメタディスコース—内容・構成面と言語面とのつながりを意識したライティング教育にむけて—」『日本語・日本文化』47, pp.49-65, 2020年3月
- ・単著「はじめてレポートを書く日本語学習者の困難点—卓立性・結束性・論理性・一貫性の観点から—」『日本語教育方法研究会誌』26(2), pp.68-69, 2020年3月
- ・共著「留学生に対する教育支援活動を通じた TA・TF の成長—大学院生の役割意識と学びの観点から—」『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』18, pp.1-19, 2020年3月

[その他の活動]

〈管理運営〉 学生交流プログラム検討 WG、Maple 運営 Sub-WG、共同利用拠点教育実習指導事業部門長

〈学会活動〉 日本語教育方法研究会運営委員、日本語教育学会審査・運営協力員、アカデミック・ジャパニーズ・グループ幹事、編集委員

〈社会貢献活動〉 大阪 YWCA 専門学校（日本語教師養成講座）講師

大和 祐子 (YAMATO Yuko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本語教育学方法論 I A・I B、日本語教育学特別研究 A・B、日本語研究指導 A・B、日本語教育学総論

[研究活動]

〈研究テーマ〉 第二言語習得論、日本語能力評価、漢字系／非漢字系日本語学習者の漢字語彙処理

〈所属学会〉 日本言語学会、日本語教育学会、小出記念日本語教育研究会、言語科学会(JSLs)、中国語話者のための日本語教育研究会、ヨーロッパ日本語教師会(AJE)、カナダ日本語教育振興会(CAJLE)、英国日本語教育学会(BATJ)

[研究業績]

〈論文〉

- ・「日本語学習者による二字漢字語の書字的認知処理—非単語の処理に着目して—」『日本語・日本文化研究』29
- ・「多言語母語の日本語学習者横断コーパス(I-JAS)を基にした日本語のストーリーライティング評価基準の開発と評価」『ことばの科学』33

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・「多角的なストーリーライティング評価と日本語能力との関係」第22回英国日本語教育学会年次大会（2019年9月6日）、英国・ニューカッスル大学
- ・「非漢字系日本語学習者の漢字書字認知に対する学習期間の影響」2019年度第16回マレーシア日本語教育国際研究発表会（2019年10月5日）、マレーシア・マラヤ大学

〈研究助成〉

- ・2016年度～2019年度科学研究費補助金若手研究(B)「非漢字圏学習者の漢字語彙学習の成功に影響する要因の解明：効果的な学習支援のために」（研究代表者：大和祐子、課題番号：16K21145）、研究代表者
- ・2019年度～2021年度科学研究費補助金基盤研究(C)「日本語学習者による漢字語彙の認知処理の特徴：学習者は漢字をどう捉えているか」（研究代表者：大和祐子、課題番号：19K00737）、研究代表者

[その他の活動]

〈学会活動〉小出記念日本語教育研究会会計監査、日本語日本文化教育研究会運営委員

〈社会貢献活動〉大阪YWCA専門学校「日本語教師養成講座」講師

高井 美穂 (TAKAI Miho) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本語教育学基礎論 I A・I B、日本語教育学研究総論、日本語・日本文化海外特別研修

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本語の会話分析

〈所属学会〉日本語教育学会、社会言語科学会、日本語プロフィシエンシー研究学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・(単著)「相互行為における親しさの主張—好みをめぐる友人間のやりとりから—」『第12回 OPI 国際シンポジウム予稿集』、pp.66-70、2019年11月
- ・(単著)「日本語母語話者の価値観の共有における成員カテゴリーの利用と実践—ライフプランをめぐる女子大学生の雑談の会話分析から—」『日本語・日本文化研究』29号、pp.86-103、2019年12月
- ・(単著)「価値観をめぐるやりとりにおける成員カテゴリー化装置—日本語を母語とする大学生の雑談の分析から—」『社会言語科学会第44回大会発表論文集』、pp.186-189、2020年2月
- ・(共著)「留学生に対する教育支援活動を通じた TA・TF の成長—大学院生の役割意識と学びの観点から—」『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』18号、pp.1-20、2020年3月、(共著者：小森万里・岩井茂樹・高井美穂・岩井康雄・五之治昌比呂・立川真紀絵・藤平愛美・松岡里奈・水野亜紀子)

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・(口頭発表)「相互行為における親しさの主張—好みをめぐる友人間のやりとりから—」第12回 OPI 国際シンポジウム (2019年11月2日 於大連外国語大学)

〈研究助成〉

- ・平成31年度～令和2年度科学研究費補助金 若手研究「日本語母語話者による友人間の雑談における意見・考えのやりとりの研究」、研究代表者 (課題番号: 19K13231)

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化専攻学務専門部会委員

〈社会貢献活動〉兵庫県いなみ野学園大学院講座地域づくり研究科講義「多文化共生と地域社会—共通言語は『やさしい日本語』」(2019年6月14日)

李 偉 (LI WEI) 特任助教

[教育活動]

〈学部教育担当科目〉日本語11、外国語教育(N)

[研究活動]

- ・中国の日本語教育における CEFRCEFRCEFRCEFR—CV の応用ため基礎研究
- ・日本語の受身文習得促進ため脈構築方法について

〈所属学会〉日本語教育学会、中国語教育学会、日本語日本文化教育研究会

[研究業績]

〈論文〉

- ・松本みなみ・ラーマナヌルアリニ・李偉・磯見真澄 (2020)「補助動詞「V ちゃう」の用法の分類再考と導入法の提案—中国語、インドネシア語を母語とする日本語学習者を対象にして」『阪大日本語教育学研究』第11号 (2020年3月掲載予定)
- ・李偉 (2020)「中国における CEFR に関する文献から見た研究動向」『外国語教育のフロンティア』第3号大阪大学大学院言語文化研究科 pp.1—15
- ・李偉 (2019)「中国人学習者による日本語の受身文の習得に関する一考察—短文完成テストの分析を通して—」『日本語・日本文化研究』29号大阪大学言語文化研究科日本語日本文化専攻 pp.124—138

秦 秀美 (CHIN Soomi) 特任助教

[教育活動]

〈学部教育担当科目〉朝鮮語Ⅲa、朝鮮語Ⅲb

[研究活動]

〈研究テーマ〉日韓の言語行動の対照研究、日本語母語話者に対する韓国語教育

〈所属学会〉日本語教育学会、MHB学会、朝鮮学会

[研究業績]

〈論文〉

・秦秀美（2020）「韓国語の文字と発音の授業デザイン」『外国語教育のフロンティア 3』大阪大学大学院言語文化研究科 pp.171-182

・ウィッイー ウー、クビライ アスル、秦秀美、内藤春日（2020）「補助動詞「-てみる」の指導法に関する一考察

―条件節「-てみたら」をめぐって―」『阪大日本語教育学研究』第 11 号 pp.1-16

〔日本文化学〕

加藤 均 (KATO Hitoshi) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉日本文化学研究総論、日本文化研究指導、比較思想研究 I、比較思想特別研究

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉近世・近代日本における仏教改革者の思想

〈所属学会〉日本印度学仏教学会、日本宗教学会

〔その他の活動〕

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター副センター長

〈学会活動〉日本印度学仏教学会理事

水田 明男 (MIZUTA Akio) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉日本経済入門、経済書購読、経済学報告の仕方、論文作成指導

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉ロシアにおける社会政策

五之治 昌比呂 (GONOJI Masahiro) 教授

〔教育活動〕

〈研究科担当科目〉比較文学特別研究 A・B、比較文学研究 IIA・IIB、日本文化研究指導 A・B

〔研究活動〕

〈研究テーマ〉日本における西洋古典の受容

〈所属学会〉日本比較文学会、日本西洋古典学会

〔研究業績〕

〈論文〉

・単著『『廻国奇観』という邦題について』『日本語・日本文化』第 47 号、大阪大学日本語日本文化教育センター、pp. 27-47, 2020 年 3 月.

・共著「留学生に対する教育支援活動を通じた TA・TF の成長―大学院生の役割意識と学びの観点から―」『授業研究』第 18 号、大阪大学日本語日本文化教育センター、pp. 1-19, 2020 年 3 月.

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター総務委員会委員長、施設マネジメント委員会委員

岩井 茂樹 (IWAI Shigeki) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本文化研究指導A・B、比較文化研究I A・B、比較文化学特別研究A・B

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本における「表情」の文化史的研究

[研究業績]

〈論文〉

- ・単著「歌銘茶道具攷—茶道具の種類を中心に」『日本語・日本文化』第47号、2020年3月
- ・共著「留学生に対する教育支援活動を通じたTA・TFの成長—大学院生の役割意識と学びの観点から—」『授業研究』第17号、2020年3月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・口頭発表(単独)「雑誌『ニコニコ』をめぐる諸問題—笑顔写真・夏目漱石・芥川龍之介」第8回日本語日本文化国際フォーラム(於:マヒドン大学、2020年2月14日)
- ・基調講演「論文の時代—専門知を共有する」JSAT第13回年次大会(於:タマサート大学、2019年11月14日)

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化専攻入試専門部会委員

佐野 方郁 (SANO Masafumi) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較社会研究、日本文化研究指導、日本歴史学特別研究

[研究活動]

〈研究テーマ〉近現代日本の国際関係に関する研究、戦後日本の史学史に関する研究、倉富勇三郎日記研究

〈所属学会〉史学研究会、日本国際政治学会

[研究業績]

〈書評・論評・紹介〉

- ・「京都歴史研究会について」、『地方史研究』第401号(2019年10月)

[その他の活動]

〈社会貢献活動〉大阪YWCA日本語教師養成講座講師、京田辺市史編さん専門部会会員

柴田 芳成 (SHIBATA Yoshinari) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉日本文学特別研究、日本文学研究、日本文化研究指導

〈学部教育担当科目〉日本文学史

[研究活動]

〈研究テーマ〉日本古典文学

〈所属学会〉説話文学会、仏教文学会

[研究業績]

〈論文〉

・「キツネの詠んだ和歌—お伽草子の作例—」（伏見稲荷大社『朱』2020年3月）

[その他の活動]

〈管理運営〉日本語日本文化教育センター学務委員、大学院日本語・日本文化専攻学務部会

〈学会活動〉日本語日本文化教育研究会運営委員

松村 薫子 (MATSUMURA Kaoruko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉比較思想研究ⅡA、比較思想研究ⅡB、日本文化研究指導A、日本文化研究指導B

〈共通教育担当科目〉日本語・日本文化研修指導（春夏）、日本語・日本文化研修指導（秋冬）、日本語・日本文化研究指導（春夏）、日本語・日本文化研究指導（秋冬）、自主研究（春夏）、自主研究（秋冬）、日本思想文化学研究（春夏）3、日本思想文化学研究基礎（秋冬）6

[研究活動]

〈研究テーマ〉袷袋や素材にまつわる怪異伝承研究、絵本や漫画にみられる妖怪の表象についての研究

〈所属学会〉日本民俗学会、現代民俗学会、日本宗教学会、比較日本文化研究会、日本語日本文化教育研究会、密教図像学会、京都民俗学会

[研究業績]

〈単著・編著書・共著〉

・高岡弘幸・島村恭則・川村清志・松村薫子編『民俗学読本』晃洋書房，2019年12月

〈論文〉

・「怪異が発生する空間」『アジア日本研究ネットワーク第4回会議報告書』vol.4，2019年9月

〈口頭発表・講演・学会報告〉

・「日本人の鬼のイメージ形成とその影響 —子ども絵本の考察を中心に—」インド・ジャワラルハル—ネルー大学シンポジウム Two-day International Seminar on “Japanese Studies in India and South Asia: towards a New Horizon”（インド・南アジアにおける日本研究: : 新たな地平線に向かって），2019年12月

・「計量民俗学と画像妖怪 DB の試み」国際日本文化研究センターシンポジウム「怪異・妖怪研究の新時代—日文研共同研究を礎に—」，2020年1月

[その他の活動]

〈学会活動〉 比較日本文化研究会運営委員、日本語日本文化教育研究会事務局

水野 亜紀子 (MIZUNO Akiko) 准教授

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 日本文学研究ⅢA、日本文学研究ⅢB、日本文学特別研究 A、日本文学特別研究 B、日本文化学研究総論

〈学部教育担当科目〉 日本文化学演習Ⅲb

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本近代文学

〈所属学会〉 日本近代文学会、大阪大学国語国文学会

[研究業績]

〈論文〉

- ・単著「芥川龍之介「ひよつとこ」の時代批判」『日本語・日本文化研究』第29号、大阪大学大学院言語文化研究科日本語日本文化専攻、2019年12月
- ・共著「留学生に対する教育支援活動を通じたTA・TFの成長—大学院生の役割意識と学びの観点から—」『授業研究』第18号、大阪大学日本語日本文化教育センター、2020年3月

〈口頭発表〉

- ・「芥川龍之介「煙管」を読み直す—貨幣政策を視座として—」第8回日本語・日本文化国際フォーラム（マヒドン大学）2020年2月14日

[その他の活動]

〈学会活動〉 大阪大学国語国文学会運営委員、樋口一葉研究会運営委員、日本語日本文化教育研究会事務局

永原 順子 (NAGAHARA Junko) 講師

[教育活動]

〈研究科担当科目〉 比較文化研究ⅡAB、世界文学・文化論、日本語・日本文化海外特別研修

〈共通教育担当科目〉 【人文】日本語・日本文化を考えるC

〈学部教育担当科目〉 日本文化学概論、日本事情演習 a、日本文化学講義Ⅲab、日本文化学演習Ⅳab、日本語 5、日本語 14、日本語 1b

[研究活動]

〈研究テーマ〉 日本文化論、宗教民俗学

〈所属学会〉 日本宗教学会、能楽学会、京都民俗学会、岡山民俗学会、土佐民俗学会、日本高専学会、水難学会、日本伝統音楽研究センター研究会、比較日本文化研究会

[研究業績]

〈共著〉

- ・ Reconsideration the relationship between rituals and Noh: the Case of Noh Seiōbo in Oomoto, Junko

NAGAHARA, *Beliefs, Ritual Practices, and Celebrations in Kansai*, March 27, 2020

〈論文〉

- ・「タイ王国における水難事故と怪異伝承との関わり」、永原順子、『季刊ういてまで』第 14 巻 第 3 号、2019 年 8 月 20 日
- ・「祭礼伝承における街道筋の意義」、永原順子、『第 8 回日本語・日本文化国際フォーラム論文集』、2020 年 3 月 31 日（オンライン版）

〈口頭発表・講演・学会報告〉

- ・ Comparative Study of Folklores in Asian Countries Talked in the Context of Lessons on Water Hazards, The 4th RSU National and International Research Conference on Science and Technology, Social Science, and Humanities 2019 (RSUSSH 2019), April 26, 2019, Rangsit University, Thailand
- ・「東南アジア諸国における水の伝承の比較検討」、第 9 回水難学会学術総会、2019 年 6 月 8 日、東京海洋大学
- ・「災害にまつわる怪異的存在の比較研究 —東南アジアでの調査をもとに—」、第 6 回 御影史学研究会・岡山民俗学会合同研究会、2019 年 8 月 25 日、ノートルダム清心女子大学
- ・「怪異伝承と水難防止教育との関わりについて」、東アジア怪異学会第 124 回定例研究会、2019 年 9 月 1 日
- ・「パネル 人工知能の社会実装化が提議する宗教的問題」、担当「AI が描く異界観とは —伝統芸能の事例から—」日本宗教学会第 78 回学術大会、2019 年 9 月 15 日、帝京科学大学
- ・ Comparative Study of Folklores in Asian Countries Talked in the Context of Lessons on Water Hazards, International Conference on Uitemate 2019, November 21, 2019, Promenade Hotel Kota Kinabalu, Malaysia
- ・「怪異伝承と水難事故との関わり ～日本および ASEAN 諸国での調査をもとに～」、2019 年度 比較日本文化研究会大会、2019 年 12 月 15 日、京都先端科学大学
- ・「怪異・妖怪 DB の創造 —妖怪プロジェクト室かく闕えり—」、「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」近世班令和元年度国際拡大研究会 シンポジウム「怪異・妖怪研究の新時代—日研共同研究を礎に—」、2020 年 1 月 11 日、国際日本文化研究センター
- ・ The Significance of the Main Street in Festival Tradition, The 8th International Forum on Japanese Language and Culture “The Forefront of Japanese Language and Culture Education in Japan and Beyond”, February 14, 2020, Mahidol University, Thailand

〈研究助成〉

- ・科学研究費助成事業、基盤研究（B）「日本発の防災教育 uitemate の ASEAN 地域を中心とした普及状況調査」、2017 年度～2019 年度、研究分担者
- ・科学研究費助成事業、基盤研究（C）「地方祭礼における空間・社会的基盤の実態と変容—高知県・絵金芝居絵屏風を対象に—」、2019 年度～2022 年度、研究分担者
- ・共同研究「学際的視点を持たせる地域連携教育研究」、株式会社坂本技研、2018 年 11 月～2019 年 10 月

[その他の活動]

〈管理運営〉 日本語日本文化専攻委員会（学務専門部会委員）、国際交流委員会委員、研究・広報・社会貢献委員会委員

〈学会活動〉 比較日本文化研究会理事、水難学会理事（広報・会報編集担当）、日本高専学会査読委員

〈社会貢献活動〉 大阪大学社会学共創クラスター「マンスリー多文化サロン」、「能入門」出張講義